



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

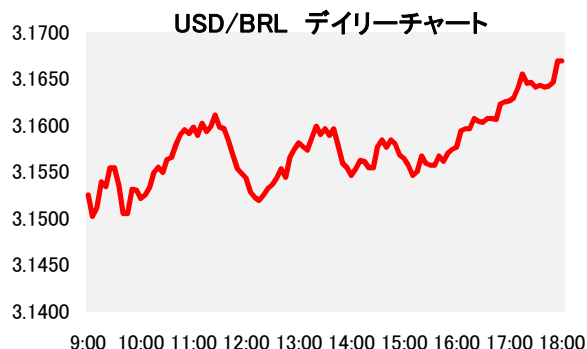
1. マーケット・レート

			8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月28日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1630	3.1420	3.1480	3.1590	3.1670	+0.0080
	BRL/JPY	Spot	34.67	34.70	34.80	34.61	34.50	-0.11
	EUR/USD	Spot	1.1761	1.1809	1.1800	1.1925	1.1979	+0.0054
	USD/JPY	Spot	109.58	109.03	109.54	109.35	109.26	-0.09
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.888	7.818	7.746	7.720	7.673	-0.047
	Future	1Year(p.a.)	7.839	7.744	7.682	7.653	7.646	-0.007
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.331	2.380	2.353	2.348	2.418	+0.070
	USD	1Year(p.a.)	2.580	2.612	2.561	2.485	2.546	+0.061
株式	Bovespa指数		70011	70478	71133	71074	71017	-57
CDS	CDS Brazil 5y		203.00	199.67	197.33	197.68	199.90	+2.22
商品	CRB指数		176.728	177.584	177.796	177.828	178.012	+0.18

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

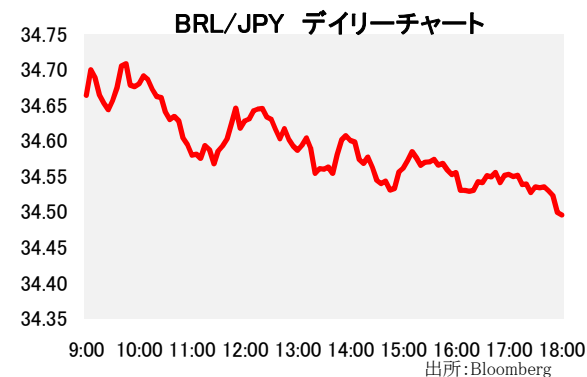
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV建設コスト(前月比)	0.34%	0.4%	0.2%
ブラジル連邦公的債務	--	3341b	3358b
貿易収支(週次)	--	\$2154m	\$1329m
(米)卸売在庫(前月比)	0.3%	0.4%	0.6%
(米)ガス連銀製造業活動	17.0	17.0	16.8



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	ブラジル経済は回復経路に入っている。
----------	--------------------



4. トピックス

- 本日のリアルは3.1620で寄り付いた後、直ぐさま日中高値となる3.1500を付けた。しかし特段材料に乏しい展開の中、リアルは3.1600を中心に小幅に推移、引け間際に本日の安値となる3.1670を付け、結局同水準でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.34%から0.39%に上方修正され、2018年は2.00%に据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.51%から3.45%へ下方修正され、2018年は4.20%に据え置かれた。為替レートは2017年末が3.23に据え置かれ、2018年末は3.39から3.38にリアル高方向へ修正された。また予想SELIC政策金利は2017年末7.50%から7.25%に4週間振りに下方修正された。
- WTI原油先物は大幅反落した一方、ガソリン先物は急伸し2年振り高値を付けた。テキサス州で熱帯暴風雨による大洪水を理由に主要製油所が相次いで操業を停止している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。